

1947
(昭和22年)

- 10.27 短資業協会臨時総会において
コール金利協定を廃止
- 12.13 臨時金利調整法公布（12月
15日施行）
- 7. 4 政府、第1次経済実相報告書
〈財政も企業も家計も赤字〉
を公表（初の経済白書）
- 7.20 独占禁止法全面施行
- 8. 4 最高裁判所発足
- 9. 1 労働基準法施行
- 9.15 カスリン台風、関東・東北を
襲う
- 〈この年〉「学校給食」「赤い羽根募金」
「街頭録音（NHK）」始まる。
流行語「アプレゲール」

1948
(昭和23年)

- 1. 6 臨時金利調整法に基づき、コ
ールローン（翌日物）の利率
最高9厘、ブローカレッジ最
高1厘と決定される。日銀指
導実行金利8厘
- 1.27 上田要、芦屋市公安委員長に
就任
- 3.17 当社上田要会長、関西経済連
合会常任理事に就任
- 3.31 金融機関再建整備の最終処理
完了
- 4.13 証券取引法公布（5月7日施
行、証券会社のコール取引兼
業禁止）
- 4.26 日銀、公定歩合2厘引上げ
（商業手形割引歩合1銭2厘）
- 4.30 日銀、農業手形制度創設
- 6.20 創業満30年
- 7. 1 臨時金利調整法に基づくコ
ールレート（翌日物）最高1銭、
日銀指導実行金利9厘
- 1. 1 改正民法施行（家長中心制度
崩れる）
- 1.26 帝銀事件起こる
- 1.30 第5回冬季オリンピック・サ
ンモリッツ大会開幕
- 3.10 芦田均内閣成立（北村徳太郎、
大蔵大臣に就任）
- 4.28 夏時刻法公布（5月第1土曜
～9月第2土曜、時刻を1時
間進めるサマー・タイム、
1952年廃止）
- 6.28 福井大地震発生
- 7. 1 国家公務員法施行
- 7.20 国民の祝日に関する法律施行
- 7.29 第14回オリンピック・ロン
ドン大会開幕（日本不招待）
- 8.15 大韓民国独立宣布
- 9. 1 取引高税法施行（1950年1
月1日廃止）
- 9. 9 朝鮮民主主義人民共和国成立
宣言

1948
(昭和23年)

7. 5 日銀、公定歩合 2 厘引上げ
(商業手形割引歩合 1 銭 4 厘)
- 7.15 日本貯蓄銀行、普通銀行に転換して協和銀行と改称
- 8. 2 日銀、割引市場育成方針を打出し(8月11日、一万田総裁談話発表)、短資会社(当初上田、山根の2社)の市中手形の買入つなぎ資金を供給する方策を決定
 - 8.10 臨時金利調整法に基づくコールレート(翌日物)最高1銭1厘、日銀指導実行金利1銭
10. 1 帝国銀行、(新)帝国銀行と第一銀行に分離・新発足。安田銀行は富士銀行に、三菱銀行は千代田銀行に、住友銀行は大阪銀行に、野村銀行は大和銀行に改称
10. 7 昭電疑獄で芦田内閣総辞職
- 10.15 第2次吉田茂内閣成立(北村徳太郎、大蔵大臣留任。同年10月19日泉山三六、同年12月14日大屋晋三、大蔵大臣に就任)
- 11.12 極東国際軍事裁判所、戦犯25被告に有罪判決(12月23日東条英機ら7人の絞首刑執行)
- (この年) 美空ひばりデビュー(5月)、太宰治自殺(6月)。「斜陽族」「てんやわんや」の小説からの流行語はやる。「110番」も誕生

1949
(昭和24年)

- 3.16 外国為替管理委員会令公布施行
- 4.25 単一為替レート(1ドル=360円)実施
- 5.16 東京・大阪・名古屋の3証券取引所再開
6. 1 国民金融公庫開業
6. 3 日本銀行法改正法公布施行(18日政策委員会発足)
- 9.30 貸金業等の取締に関する法律(6月30日施行)に基づき、貸金業の届出を行う
- 2.16 第3次吉田茂内閣成立(池田勇人、大蔵大臣に就任)
3. 7 ドッジ公使、経済安定9原則の実行を声明(ドッジ・ライン)
4. 4 西側12カ国、北大西洋条約(NATO)調印
5. 6 ドイツ連邦共和国(西ドイツ)成立
- 5.31 国立学校設置法公布(新制国立大学69校を各都道府県に設置)

1949

(昭和24年)

- 10.26 一万田日銀総裁来阪時の各界代表者懇談会において、上田 要会長金融公債構想を建議
- 11.30 通貨安定対策本部解散（地方委員会も逐次解散）
- 12. 1 外国為替及び外国貿易管理法公布
- 6. 1 日本国有鉄道発足
- 7. 5 下山事件起こる
- 7.15 三鷹事件起こる
- 8.17 松川事件起こる
- 10. 1 中華人民共和国成立宣言
- 10. 7 ドイツ民主共和国（東ドイツ）成立
- 11. 3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞
- 12. 1 お年玉つき郵便はがき初発売
(この年) 「フジヤマのトビウオ」「駅弁大学」不況を映じ「自転車操業」も流行語に

1950

(昭和25年)

- 1.14 地方銀行協会設立
- 2. 8 日本証券金融新発足
- 3.11 日銀、手形割引市場育成のため、短資業者に対し輸入貿易手形売買に伴うつなぎ資金の貸出限度額設定（日銀融資枠 上田 1 億円、山根・東京各 5000万円）
- 4. 1 日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行、普通銀行に転換（特殊銀行制度廃止）
- 4.10 日本証券金融コール市場に参加
- 4.21 棉花手形の割引を開始（日銀融資枠、上田・山根・東京各 5 億円）
- 5.一 日銀指導コールレート（無条件物中心） 1 銭 8 厘
- 1. 7 初の1000円札発行
- 5. 1 公職選挙法施行
- 6.25 朝鮮戦争勃発
- 7. 2 金閣寺、放火で全焼
- 7. 5 後樂園野球場で初ナイター
- 7.24 GHQ、新聞協会代表に共産黨員などの追放を勧告（言論レッドパージ始まる）
- 8.10 警察予備隊令施行（23日第 1 陣入隊）
- 11.10 NHK東京テレビジョン実験局で定期実験放送を開始
- 11.22 プロ野球、初の日本選手権試合（毎日オリオンズ優勝）

1950

(昭和25年)

- 6. 2 日銀、短資取引担保並びに短資業者に対する日銀貸出担保として金融債、事業債を認める
- 9. 25 日銀、外国為替貸付制度実施
- 10. 2 当社資本金200万円を1000万円に増資
- 12. 31 年末日（日）臨時営業を実施

〈この年〉 第1回ミス日本に山本富士子。朝鮮動乱ブームで「金へん、糸へん」が好況の代名詞に。年齢満数えに変更

1951

(昭和26年)

- 2. 1 日本輸出銀行開業（1952年4月1日、日本輸出入銀行に改組）
- 3. 一 日銀指導コールレート（無条件物中心）1銭9厘5毛
- 4. 1 大蔵省預金部を資金運用部に改組
- 5. 14 日銀、レギュラーウエイ実施（6月1日）に伴い、短資取引担保株式預り証制度を創設
- 5. 15 日本開発銀行開業（復興金融金庫は1952年1月解散）
- 6. 4 証券投資信託法公布施行
- 6. 5 相互銀行制度発足（相互銀行法公布施行）
- 6. 15 信用金庫制度発足（信用金庫法公布施行）
- 10. 1 日銀、公定歩合2厘引上げ（商業手形割引歩合1銭6厘）
- 11. 1 全国信用金庫連合会開業

1. 3 NHKラジオ第1回紅白歌合戦（スタジオ）放送

1. 16 民営米屋の登録開始

4. 11 マッカーサー連合軍最高指令官解任（後任リッジウェイ中将）

4. 24 桜木町事件起こる

5. 1 日本発送電、9電力会社に分割

6. 20 政府、第1次追放解除を発表

7. 4 プロ野球第1回オールスターゲーム開催

8. 1 日本航空発足（10月25日戦後1番機飛行）

9. 8 対日平和条約（日本を含む49カ国が調印）、日米安全保障条約調印

〈この年〉 パチンコが名古屋から全国ブームに。「老兵は死なず」（マッカーサー語録）

1952

(昭和27年)

- 2. 18 日銀、別口外国為替貸付制度を実施

2. 14 第6回冬季オリンピック・オスロ大会開幕

1952

(昭和27年)

- 5. 8 1927年の日銀特別融通の期間満了(回収不能25行・社)
- 5.28 国際通貨基金(IMF)、日本の加盟を承認(8月13日加盟)
- 6.14 貸付信託法公布施行
- 7. 1 東京外国為替市場開設
- 9.30 当社、本社において外国為替業務を再開
- 12. 1 大阪銀行、住友銀行の旧商号に復帰
- 12. 5 日本長期信用銀行開業
- 4. 9 日航機もくせい号、三原山に墜落
- 4.28 対日平和条約・日米安全保障条約各発効(日本独立回復)
- 5.19 白井義男、ボクシング世界フライ級で日本人初のチャンピオン
- 7.19 第15回オリンピック・ヘルシンキ大会開幕(日本戦後初参加)
- 7.21 破壊活動防止法施行
- 8. 1 日本電信電話公社発足
- 8. 1 会社更生法施行
- 10.30 第4次吉田茂内閣成立(向井忠晴、大蔵大臣に就任)
- 11.10 明仁皇太子、成年式・立太子礼
- <この年> ラジオドラマ「君の名は」放送開始、「鉄腕アトム」誕生。PTA結成

1953

(昭和28年)

- 2. 2 日銀、外国為替引当貸付制度実施
- 2. 2 日銀、貿易手形制度を輸出前貸手形制度と改称
- 3. 5 スターリン死去の報に株価暴落
- 6.一 日銀指導コールレート(無条件物中心) 2銭
- 7. 1 千代田銀行、三菱銀行の旧商号に復帰
- 9.11 中小企業金融公庫開業
- 2. 1 NHK、テレビの本放送開始
- 3. 5 スターリン・ソ連首相死去
- 5.21 第5次吉田茂内閣成立(小笠原三九郎、大蔵大臣に就任)
- 5.29 英ヒラリー隊がエベレスト初登頂
- 7.27 朝鮮休戦協定調印
- 8. 1 金販売が15年ぶりに自由化
- 8. 7 スト規制法公布施行
- 8.28 民間初のテレビ本放送開始
- 10. 1 町村合併促進法施行

1953
(昭和28年)

10. 1 日銀、手形市場育成のため紡績手形（紡績10社振出し、短資業者あて約束手形）を市場割引対象として指定、当社は取扱高の大部分を占める（日銀、9月26日決定、10月1日実施、10月5日初取引成立）
- 10.24 保全経済会休業

12.24 奄美群島返還の日米協定調印（25日復帰）

〈この年〉 伊東絹子ミスユニバース3位入賞で「八頭身」が流行語。「赤電話」登場。日本初のスーパーマーケット開店

1954
(昭和29年)

1. 1 帝国銀行、三井銀行の旧商号に復帰
- 1. 1 銀行等替勘定の円未満端数整理（当社同調）
3. 9 日銀、輸入金融優遇措置の全面的見直し決定
- 3.29 日銀指導コールレート無条件物2銭2厘、普通物2銭2厘5毛、月越物2銭3厘5毛各最高
4. 1 全国信用協同組合連合会発足
- 4.10 外国為替銀行法公布施行
- 5.15 利息制限法公布（6月15日施行）
- 6.23 法律第195号「出資の受入、預り金及び金利等の取締等に関する法律」公布施行（短資会社の準拠法となる）
 - 6.29 大蔵省、金融機関に対し市場取引コールの励行と直取コールの抑制方を通達
8. 1 東京銀行、外為専門銀行として新発足

- 1.20 帝都高速度交通営団、丸の内線池袋—御茶の水間開業（戦後最初の地下鉄開通）
3. 1 第五福竜丸、ビキニの米水爆実験により被災
- 4.21 犬養法相、造船疑獄捜査に指揮権発効
7. 1 防衛庁設置法・自衛隊法施行
7. 1 警察庁、都道府県警察発足
- 9.26 台風15号で青函連絡船洞爺丸転覆、死者・行方不明1183人（洞爺丸遭難事故）
- 12.10 第1次鳩山一郎内閣成立（一万田尚登、大蔵大臣に就任）
- 12.11 第19代日銀総裁に新木栄吉就任（再度）

〈この年〉 ヘップバーンカット流行。力道山プロレスブーム起こる

1955

(昭和30年)

- 4. 1 労働金庫連合会開業
- 6.20 短資取引担保登録社債等代用証書制度創設
- 6.一 日銀指導コールレート無条件物2銭、普通物2銭1厘、月越物2銭2厘5毛各最高
- 8.10 日銀、公定歩合4厘引上げ(商業手形割引歩合2銭)。公定歩合の大幅引上げに対応し高率適用を個別・例外的適用に改正(8月17日実施)
- 8.23 日銀、コールレートについて設けていた指導レート(最高限度)の廃止を決定
- 11.16 北海道拓殖銀行、都市銀行入り
- 3.19 第2次鳩山一郎内閣成立(一万田尚登、大蔵大臣留任)
- 5.14 ソ連・東欧8カ国、友好相互援助条約(ワルシャワ条約)に調印
- 8.6 第1回原水爆禁止世界大会広島大会開催
- 8.7 日本で初のトランジスタ・ラジオ発売
- 9.10 日本、GATT加盟
- 11.22 第3次鳩山一郎内閣成立(一万田尚登、大蔵大臣留任)
- 12.23 政府、経済自立5か年計画を決定
- 〈この年〉 流行語「マンボスタイル」(髪型)、「ボディビル」、「ノイローゼ」。新宿駅ホームで「押し屋」登場

1956

(昭和31年)

- 4. 1 大蔵省告示第47号をもって、大蔵大臣の直轄短資業者として指定を受ける(上田、東京、山根の3社)
- 4. 2 東京・大阪両証券取引所、債券売買市場を再開
- 5.15 日銀、為替交換決済制度を実施(内国為替集中決済制度を改正)
- 5.16 政府短期証券の市中公募実施(定率公募、残額日銀引受方式)
- 1.26 第7回冬季オリンピック・コルチナ大会開幕(スキー回転で猪谷千春、日本人初の銀メダル獲得)
- 5. 9 日本登山隊、ヒマラヤのマンスル初登頂
- 6.16 百貨店法施行
- 7.17 経済企画庁、経済白書「日本経済の成長と近代化」を発表(「もはや戦後ではない」)
- 7.26 エジプト、スエズ運河国有化を宣言
- 10.19 モスクワで日ソ国交回復に関する共同宣言調印

1956

(昭和31年)

- 5.22 大蔵省告示第84号をもって、
短資会社は証券取引法上の金
融機関として指定を受ける
- 5.31 日銀、スタンプ手形制度を全
廃
- 6. 7 金融制度調査会設置法公布施
行
- 6.18 東京外国為替仲立人協会設立
- 6.20 日本割引短資設立
- 8.20 日銀、高率適用制度を強化
(低率枠圧縮)
- 12.一 日銀、銀行に対し所有政府短
期証券の売却を実施(原則2
週間後買戻し)
- 10.29 イスラエル軍、エジプトに侵
入(スエズ動乱勃発)
- 11.19 東海道線、全線電化完成
- 11.22 第16回オリンピック・メル
ボルン大会開幕
- 11.30 第20代日銀総裁に山際正道
就任
- 12.18 国連総会、日本の国連加盟を
可決
- 12.23 石橋湛山内閣成立(池田勇人、
大蔵大臣に就任)
- 〈この年〉流行語「太陽族」「マネービ
ル」「1億総白痴化」(TV
番組批判)。週刊誌ブーム始
まる

1957

(昭和32年)

- 3.20 日銀、公定歩合1厘引上げ
(商業手形割引歩合2銭1厘)
- 3.20 日銀、高率適用制度改正(第
1・第2次高率を廃止し、基
準金利の3厘高1本建とす
る)
- 4. 1 日本不動産銀行設立
- 5. 8 日銀、公定歩合2厘引上げ
(商業手形割引歩合2銭3厘)
- 5.13 「臨時金利調整法」に基づく
コールローン利率(翌日物レ
ート)、ブローカレッジ規制
廃止
- 5.27 準備預金制度に関する法律公
布施行
- 6. 1 当社資本金1000万円を3000
万円に増資
- 1.30 南極観測隊、昭和基地建設に
着手
- 2.25 第1次岸信介内閣成立(池田
勇人、大蔵大臣留任。同年7
月10日一万田尚登、大蔵大
臣に就任)
- 3.25 欧州経済共同体(EEC)条
約調印
- 4. 9 エジプト、スエズ運河再開を
発表
- 8.27 日本原子力研究所第1号原子
炉(ウォーターボイラー型)、
臨界点に達し原子の火ともる
- 10. 1 初の5000円札発行
- 10. 4 ソ連、人工衛星スプートニク
1号打上げに成功
- 12. 6 日ソ通商条約調印

1957
(昭和32年)

- 6.29 コールレート無条件物最高6銭2厘を示現
- 7.15 全銀協、コールレート自肅措置を実施（自主申合せ最高限度3銭5厘、中心3銭）
- 10.10 全銀協、コール自肅レートを引下げ（最高3銭、中心2銭8厘）

12.28 NHK・日本テレビ、カラーテレビ実験放送開始

〈この年〉「才女時代」と称され、有吉佐和子ら女性新人作家相次いでデビュー。「よろめき」が流行語に

1958
(昭和33年)

- 4. 1 日銀、地銀に対し同行保有手形の買戻条件付売却を実施
- 4.18 全銀協、コール自肅レートを2厘引下げ（最高2銭8厘、中心2銭6厘）
- 6.18 日銀、公定歩合2厘引下げ（商業手形割合歩合2銭1厘）
- 6.20 創業満40年。「四十年の歩み」を刊行
- 6.23 全銀協、コール自肅レートを2厘引下げ（最高2銭6厘、中心2銭4厘）
- 9. 5 日銀、公定歩合1厘引下げ（商業手形割合歩合2銭）
- 9.16 全銀協、コール自肅レートを1厘引下げ（最高2銭5厘、中心2銭3厘）
- 12.31 日銀、農業手形制度を廃止

1. 1 欧州経済共同体（EEC）発足

1.31 米、人工衛星エクスプローラー1号打ち上げに成功

3. 9 関門国道トンネル開通（全長3461m）

6.12 第2次岸信介内閣成立（佐藤栄作、大蔵大臣に就任）

11. 1 東海道線こだま号運転開始（東京・大阪間6時間50分）

11.27 皇太子と正田美智子さんの婚約発表

12. 1 初の1万円札発行

12.23 東京タワー完工式（高さ333m）

〈この年〉皇太子妃決定で「ミッチー」ブーム起る。「ロカビリー」旋風、「フラフープ」流行。「三種の神器」（テレビ・洗濯機・冷蔵庫）普及

1959
(昭和34年)

- 2.19 日銀、公定歩合1厘引下げ（商業手形割引歩合1銭9厘）

1. 1 メートル法実施（尺貫法廃止）